



人権について考えてみませんか？ 「人権問題講演会」を開催

12月4日、中央公民館で美浦村人権講演会「ふつうって何？」〜共に生きる社会をめざして〜が開催されました。茨城県教育庁総務企画部総務課人権教育室主任の倉持功氏を講師に迎え、人権問題について分かりやすくご講演いただきました。

講演会の最後には、茨城県が作成した人権問題啓発映画「ホーム」も上映されました。当日は、85名の方が参加され、一人ひとりの「人権」が尊重される豊かなまちをめざし、「人権」についてみんなで学び、様々な人権問題を考え理解を深める貴重な機会となりました。

法務省の人権擁護機関では、人権デー(12月10日)を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、昭和24年から毎年、各関係機関および団体とともに協力し、全国的に人権啓発活動を強化しています。

地域の問題を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340(内)205



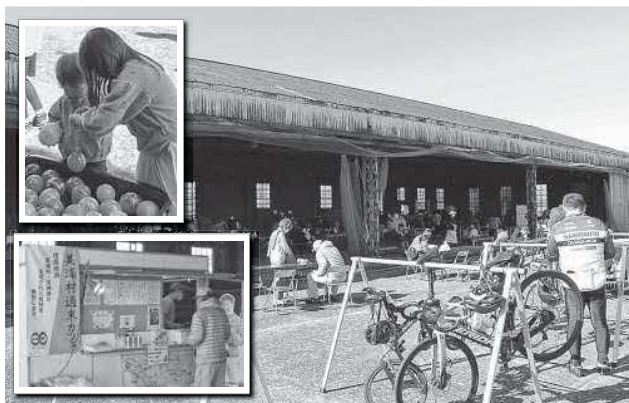
美浦村消防団が機械器具点検実施

11月20日、美浦村消防団が機械器具置場点検及び真空ポンプ圧力テストを行い、102名の団員が参加しました。これは、各消防分団に配備する消防ポンプ、消防機械器具等の性能及び付属品の維持管理状況を点検し、資機材の適正管理と、災害等に対する態勢を整えることを目的に実施されたものです。

また同日、木原地区自主防災組織において、いなほ消防署の協力を得て、地区住民による放水訓練を行いました。参加された方は、火災の第1発見者になり、消防署や消防団が到着するまでの時間や、大規模災害時に消防の手が回らない場合など、自分たちの地域を協力して自分たちで守る『自助・共助』のため、火災発生時に対応できるよう、消火栓の開け方や、放水までの手順を熱心に学んでいました。



美浦村週末カフェ感謝祭を開催



11月27日、美浦村週末カフェにおいて、「美浦村週末カフェ感謝祭」が開催されました。今回のイベントは、週末カフェがオープンして1年半の感謝と、今年から二代目地域おこし協力隊として加入した桂典久さんの美味しい食事『かつらめし』を多くの人に知ってほしいとの思いから開催されたものです。

会場では、桂さん特製「美浦村野菜たっぷりモツ煮」の無料配布やチャリティーバザー、ポートでの霞ヶ浦遊覧体験などが行われ、村内外から訪れた多くの人で賑わいました。

※1月～3月は週末カフェは冬季休業となります。

金婚を迎えた

ご夫婦に褒状贈呈



11月16日、めでたく結婚50周年である金婚を迎えられたご夫婦のお宅へ、村長と村社会福祉協議会事務局長が訪問し、お祝いの言葉とともに村社会福祉協議会から褒状と記念品が贈られました。訪問した4組のご夫婦のうち、宮本秀夫さん・富枝さんご夫婦からメッセージをいただきました。

ました。「妻には、衣食住と健康管理をしてもらっており、とても感謝しています。(秀夫さん)努力家でも何事も一生懸命取り組み、私の行動にも協力してくれて、日々尊敬と感謝の気持ちで50年過ごしてきました。(富枝さん)健康管理に努め、皆さまとともに明るく楽しく暮らし、ピンピンコロリンの人生を歩んでいきたいと思えます。私たちのために金婚を祝ってくださいました村長様、行政・社協職員の皆様村民の皆様厚くお礼を申し上げます、心から感謝いたします。」

社協では、今回訪問したご夫婦のほか、7組のご夫婦の金婚をお祝いしました。このたびは金婚おめでとうございます。

国道125号大谷バイパス 美浦一稲敷区間開通



11月30日、国道125号大谷バイパスのうち、美浦村の美浦トレーニング・センター入口の交差点から稲敷市佐倉の県道江戸崎新利根線までの約1.1キロ区間が完成し、午後3時30分より供用が開始されました。供用に先立ち、交通安全祈願式が行われ、道路に置いた「交通安全祈願」の文字を清め、最後にパトカーの先導により通り始めが行われました。

登録有形文化財「小澤家住宅」 見学会を開催しました



11月27日、国登録有形文化財「小澤家住宅」の見学会を開催しました。小澤家住宅は明治時代中期に建てられ、当地域の名主の屋敷構えを今に伝える貴重な民家です。随所にみられる建築技術や歴史的な背景など、ヘリテージマネージャーの池田恵子氏による説明を受け、参加者は大きな関心を寄せていました。

小倉優実さん、茨城県租税教育推進協議会長賞受賞



11月16日、ザ・ゴルフクラブ亀ヶ崎において税の作文表彰式が開催され、美浦中学校2年の小倉優実さんが、茨城県租税教育推進協議会長賞を受賞されました。表彰式では、中学生や高校生から応募された税に関する作文並びに、高校生から応募された税の標語の優秀作品に対する表彰の贈呈と受賞作の朗読が行われました。

小倉さんは、「こんな素晴らしい賞をいただき、とてもうれしいです。税金は絶対的貧困の子どもを助けるためのものです。住みやすい村にするため、私も助けたいとの思いで書きました。」と語ってくれました。この度の受賞おめでとうございます。